



ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

Weekly Report

世界へのプレゼントになろう

2015~2016年度
国際ロータリーのテーマ
Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

2015~2016年度
名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
輝いて行動しよう!!
~Go Go Go~

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：伊藤 豪
幹 事：梅村 昌孝
クラブ広報委員長：田中 宏
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30~
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋1504号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1741回例会

~青少年奉仕月間~
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2016年5月19日(木) 晴れ 第40回

司 会：大嶽達郎会場委員長
齊 唱：「我等の生業」
ゲ ス ト：NPO法人健康な脳づくり理事長
名古屋市立大学名誉教授 西野仁雄さん
NPO法人健康な脳づくり世話人 白木基之さん
ビ ジ タ ー：名古屋東RC 本多満さん

副会長挨拶

平野好道副会長

今日のテーマは「現金がなくなる日」についてです。皆さんは、今財布に現金をいくらくらい持っているでしょうか？以前、年齢×千円札分は持っていなければいけないと聞いたことがあります。50歳なら5万円でしょうか。



しかし、今は現金をそんなに持ち歩いている人はいないのではないのでしょうか？ほとんどの人はクレジットカードを持っていますし、今はマナカのようなチャージできるカードで電車に乗るだけでなく、買い物もできてしまうので、小銭を探しておつりをもらって、というような手間を省くことが出来て、大変便利になりました。

北欧ではキャッシュレス化がもっと進んでいるようです。アメリカでの現金決済比率は47%だそうですが、ノルウェーでは消費者の現金決済比率は、たったの6%だそうで、残りは電子決済だそうです。そのため、ノルウェー第2銀行は、一店舗を除いて、窓口での現金受け渡しを停止したそうです。

スウェーデンでも、多くの銀行がATMを撤去中で、大手銀行の半数以上の支店で現金を用意せず、現金を顧客から受け取らないそうです。また、店舗では現金お断りという看板を出しているお店も少なくないそうです。

このようなキャッシュレスのメリットは、小売店は現金管理のコストがなくなる、銀行は現金のための警備コストが軽減され、電子決済の手数料が入る等があるとされています。政府も個人のお金の流れが把握できるので、課税逃れを防ぐ効果がありそうです。しかし、逆に全ての支払いが記録に残っているため、プライバシーの侵害の恐れがあるのではと指摘されています。

次は将来に対する私の空想です。日本マイクロソフトの元社長は、あと10年後には完全に電子ポイントで買い物をする時代になっている可能性もあると言っています。自動運転車によって車の売上げが激減する可能性があるトヨタが元気がなくなると、この地方は困るので、新たな事業としてトヨタポイントを導入したらどんな会社ができるか考えるのも面白いと思います。

まず、給料をポイントで払います(現在の法律制度では無理ですが)。従業員は現金かポイントかを選び、ポイントで支払いを受ける時には数%の加算

がされます。トヨタは、給料全額を現金で用意する必要はなく、お金を大変有利に運用できます。従業員が現金を持たないので、トヨタ関連のお店は全てトヨタポイントが使えるようにしないと成り立たなくなります。従業員も預金を持つ必要が最小限になるので、銀行預金は減ります。もちろん、下請け等の取引先にもポイントを使わせます。自動車産業のすそ野は広いので、日本のかなりの数の企業が取引にポイントを使わざるを得なくなります。また、トヨタはグローバル企業なので、使い勝手をよくすれば世界で使える電子マネーになるかもしれません。

ポイントのやり取りは電子的に行うだけなので、銀行手数料はかからないか、ごく少なくなります。銀行は送金手数料の収入を失います。そうすると、トヨタは新たな金融機関として、新たな会社として生まれ変わるのでしょうか？

ニコボックス

森裕之ニコボックス委員

- ・本多清治が永い間お世話になりました。 **本多誠之さん・本多敦さん**
- ・5月17日夜の「本多元会長を偲ぶ会」には30名を超える(約35名)各位にご参加賜り誠にありがとうございました。 **高村 博三さん**
- ・本多さんお世話になりました。有難うございました。 **内田 久利さん**
- ・家内の誕生日にきれいなお花を有難うございました。 **岩本 成郎さん**
- ・5月は結婚記念日と私の誕生日です。 **堀 慎治さん**
- ・5月は結婚記念月です。 **田中 隆義さん**
- ・福岡西RC60周年祝賀会に18名で行き、「親睦と友好」を深めて参りました。皆様、ご協力有難うございました。 **伊藤 豪さん**
- ・福岡西RC60周年祝賀会にご出席の皆様、大変お疲れ様でした。お世話になりました。ありがとうございました。 **梅村 昌孝さん**
- ・福岡西60周年祝賀会お疲れさまでした。本多さんを偲ぶ会の段取り、岡村さんありがとうございました。 **関谷 俊征さん**
- ・松波先生のご紹介で入会させていただきました弁護士村瀬と申します。
- ・これからどうぞ宜しくお願い致します。 **村瀬 俊高さん**
- ・泉さんにお世話になりました。ありがとうございました。 **鈴木 健司さん**
- ・福岡西RCさんのバッジホルダーが立派で見事でした。我々も頑張ります。皆さんありがとうございました。 **森 裕之さん**

出席報告

森裕之出席委員

会員67名 出席42名 (出席計算人数46名)

出席率 83.6% 5月12日は補填により 91.5%

幹事報告

梅村昌孝幹事

- ・本日13:40より次年度予定者会議をヒルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- ・5月26日(木)19:00~20:30、名古屋熱田RAC・瑞穂高校IACとの合同例会をヒルトン名古屋28階「One O Five」にて行います。

委員会・同好会報告

ゴルフ部会5月度(第368回)

開催日:5月11日(水)

氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝 田中 宏さん	83	6	77
2位 近藤茂弘さん	99	18	81
3位 岩田修司さん	94	12	82

第369回6月度ゴルフ例会は6月15日(水)、三好カントリー倶楽部にて開催いたします。

ビジター挨拶

名古屋東RC本多満さん

一昨日の本多清治お別れの会に、大勢の名古屋瑞穂RC会員の皆様に参加いただき、ありがとうございました。創設以来、兄・清治は皆様に非常に可愛がっていただいたと思います。

とりわけ野崎さんには、お別れの会でご挨拶をしていただきまして、心温まる生の話を聞くことができましたこと、感謝申し上げます。



卓話

日本の課題～認知症の予防～: NPO法人健康な脳づくり理事長 名古屋市立大学名誉教授西野仁雄さん

日本の現状と課題は、これから将来に渡ってどういう国を目指すのかを問われているのではないのでしょうか。政治、経済、エネルギー、食料、災害、環境、人口、色んな問題があるかと思えます。人口については、超少子高齢社会です。GDPが下がり、人口が下がると国が縮小することは、ある意味日本という国が消えていくことです。

超少子高齢社会の中で2つの問題があります。1つ目は、生まれてくる子どもが少なく、国が縮小していく時代に入っていることです。いかに出生率を上げていくかというのは非常に大きな問題であり、さらに、少ない子どもたちは遅く健全に育てなければならないと思います。また、政府は予算を学校教育に割いていないことも問題です。教育は目に見えての成果は出ませんが、将来に対する投資ですのでしっかりしなければなりません。

2つ目は、高齢者の健康維持と社会環境です。今、65歳以上の高齢者人口が増えています。75歳以上の医療費を計算すると、年間平均は1人80万円になります。これからさらに高齢者が増えていくわけですから医療費が足りなくなっていくと思います。

中でも大きな問題は認知症で、現在約460万人から500万人が認知症を発症しています。2050年には1000万人になる予想で、その頃には国民の1割以上が認知症になるという推計が出ています。認知症に対しての医療費、介護施設や病院への入所、訪問介護サービスを使って家庭で面倒を見る場合も併せると、10兆円以上の社会的費用が認知症に対して掛かっています。今後この社会的費用を増やさないためにも、いかに認知症にならないようにするか緊急の課題でございます。

認知症は老化の最終過程なので完全に阻止する事は難しいです。人生50年という時代から、現在は人生80・90歳までなので、脳細胞に支障が出るのは当然で、認知症を避けるのは不可能です。認知症にも色々なタイプがあり、アルツハイマー型認知症はゆっくり進んでいく記憶障害型の認知症で、全体の50%以上占めています。レビー-小体型は、後頭葉から進行して幻覚

などの視覚障害が現れ、そこにパーキンソン病の症状が加わっていきます。脳血管性型は脳梗塞などで損傷があった箇所から機能が低下していきます。混合型はアルツハイマー型と、脳血管型の両方の症状が出ます。ピック病型は、特に前頭葉、側頭葉が損傷しますので、感情のコントロールが出来ず、社会ルールが守れなくなります。少しおかしいと感じたら専門医、神経内科医を受診していただきたいと思います。

認知症には中核症状が必ず現れてきます。まず物忘れがひどくなる記憶障害からはじまり、見当識障害、執行障害があります。周辺症状は人によって違ってきます。最近では、症状を軽減させる、発症を遅らせる手立てがないかに関心が寄せられ、政府は新オレンジプランの策定をしております。いかに予防するかは、個人が生活習慣を改め、良く運動することの一言に尽きます。

脳は1日に神経細胞10万個が死んでいます。ところが、神経細胞が死んでも情報交換は出来るわけです。何故脳がそこまで発達したかという、人類が二足歩行になったことで、自由になった手をどんどん使ったためです。

ところが最近はどうでしょうか。皆さんは手を使いますか?足も車があるので歩かなくなりました。また、相手の表情をしっかり見て話す事も非常に少なくなってきています。一番大事である手と足と口を使う機会が今の文明社会ではぐっと落ちています。逆に言えば私達は自分で自分をボケさせているわけです。手足、口は日頃からよく使いましょ。

また、脳の働きの中には心があります。簡単に言うと心は、何かに対して関心、興味を持つという働きのことです。何かに関心を持つだけでも人間の脳は活性化されますが、さらに関心を持ったことを実行するために行動すると脳の構造が変わります。

昨年4月から私達の団体は手足、口を働かせ認知症を予防するAnti-Dementia Action Programを行っています。これはまず、ストレッチや足を使った運動、体幹筋肉を動かす運動を40分間行います。その後20分程休憩をして、後半40分は頭を使います。頭を使うということはつまり、口を動かすということです。巷では運動をしましょとよく言われますが、運動だけでなく、食事をよく噛む、話す、音読する、カラオケなど頭を使うことも併せて行いましょう。こうしたプログラムを1年間行った人の脳の機能はほとんど落ちていないです。年を取ると若かった頃より入ってくる情報量が減っていくわけですが、いかに情報を得て刺激を与えるかが大事です。

人生は生まれてから学業を終えるまでの第一の人生の準備期、学業を終えてから定年を迎えるまでの第二の人生の活動期、それ以降の完成期があります。ヨーロッパは定年後もいかに活動期を続けるかに取り組んでいます。アメリカでは定年後、自由に振る舞えるようになってからが活動期の本番だという考えです。日本でアメリカ型は難しいかもしれませんが、認知症予防の為に、せめてヨーロッパ型の高齢者を目指したいものです。

例会のご案内

■今週の行事

5月26日(木) RAC・IACとの合同例会

場 所: ヒルトン名古屋28階「One O Five」

時 間: 19:00~20:30

■次週の卓話

6月2日(木)

テ ー マ: 日本赤十字社の活動について

卓 話 者: 日本赤十字社愛知県本部

救護・事業推進課長兼企画業務課長

藤居 靖幸さん

■次々週行事

6月9日(木) なごやか例会

場 所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」

時 間: 18:00~20:00